

8月8日

テーマ：いのちへの水

聖書箇所：ヨハネの福音書 4章14節

◆今日のみことば

しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。

ヨハネの福音書 4章14節

◆メッセージ

みなさんにとって、お水が飲みたくなる時はどんな時ですか。太陽がキラキラしている



時に元気いっぱい体を動かしたあとは、コップに注がれた冷たい水がとてもおいしいものです。「ああ、生き返った!」と言ってしまふほど、私たちに「ほっ」とさせてくれます。人間のからだは、70%が水ですから、水なしでは生きて

いくことができません。だから、いつでも水が湧き

出ている泉があれば、安心ですね。

イエスさまは、「水を与える」とおっしゃいました。この水は、のどの渴きをいやす水ではなくて、心の渴きをいやす水です。心が渴くとは、愛がないさみしい心のことです。誰といても安心できない心。何のために生きているのかわからない心のことです。そのようにカラカラに乾いた心が、イエスさまが与えてくれる愛で潤されるのです。時



々、ちょっとだけ、ではありません。いつも、そして、ずっと、泉のように湧き出てくるのです。心が渴くことはありません。イエスさまの愛に満たされ、安心して生きることができます。

この水、ほしいですか? 探しに行かなくても大丈夫です。どこにあるのか、はっきりしていますね。イエスさまのもとにあるのです。イエスさまのところに行って、イエスさまから受けることができます。

だから、他の人にも、教えたいですね。イエスさまのもとに、心の渴きをいやすいのちの水がありますよ、と。

◆お祈り

「天のお父さま。わたしたちが、いつでもいのちの水である、神さまのことばを聴いて留まれるようにしてください。イエスさまのもとで安心して生きることができますように。イエスさまのお名前によってお祈りします。」 (白百合福音教会牧師 鈴木徹司)

